

名古屋市がん対策アンケート調査【報告書概要】

(1) 調査の概要

ア 趣旨

がん検診受診率のさらなる向上に向けた取り組みを進めるとともに、がんに関する様々な課題やニーズを把握し、がん患者の支援のあり方を検討するため、調査を実施するもの。

イ 期間

平成28年6月～7月

ウ 内容

区分	調査方法	対象者	回収数
市民	郵送	20歳以上の男女 8,000人	3,921人 (回収率49.0%)
企業	郵送	名古屋商工会議所会員 1,000社	568社 (回収率56.8%)
協会けんぽ 被扶養者	郵送	全国健康保険協会(協会けんぽ) 愛知支部の名古屋市在住の被扶 養者 3,000人	1,581人 (回収率52.7%)
がん患者等	病院にて 調査票配布、 回収	愛知県がんセンター中央病院、 名古屋市立大学病院、名古屋市 立西部医療センターに通院する 外来のがん患者等 1,728人	1,600人 (回収率92.6%)
病院	郵送	市内のがん診療連携拠点病院、 がん診療拠点病院及び病床数 200床以上の病院 22病院	22病院 (回収率100.0%)

(2) 主な内容と結果

ア 市民

・がんについて知っていること

区分	割合
たばこは、肺がんや喉頭がんのほか、多くのがんと関わりがある。	83.8%
医療技術の進歩により、以前より生存率が高くなっている。	81.3%
日本では、およそ2人に1人が生涯にがんにかかる。	30.6%
子宮頸がんは20代～30代の若い世代で多く、主な原因はヒトパピローマウイルスである。	28.5%
肝がんの主な原因は肝炎ウイルスであり、予防するためには肝炎ウイルス検査が有効である。	19.1%

・がん検診受診のきっかけ

区分	割合
自身の健康管理のため	50.2%
会社から案内があったから	27.2%
がん検診がワンコインだから	24.9%
無料クーポン券が届いたから	20.9%
医療機関から勧められたから	16.0%

・がん検診を受診しない理由

区分	割合
忙しくて時間がないから	32.1%
面倒だから	30.4%
費用がかかるから	27.8%
今は健康に不安がなく自信があるから	27.5%
がん検診のことをよく知らないから	22.6%

・名古屋市のがん対策において充実すべきこと

区分	割合
がん検診に関する受診勧奨や情報提供	33.9%
がんの治療や医療機関に関する相談体制や情報提供	30.8%
子どもの頃からのがん学習	28.9%
食生活、運動習慣などのがん予防に関する啓発	26.9%
仕事と治療の両立を支援する取り組み	25.8%

イ 協会けんぽ被扶養者

・昨年度におけるがん検診の受診割合

区分		全体
		無料クーポン対象者
大腸がん検診	25.8%	40.3%
子宮がん検診	24.4%	48.1%
乳がん検診	27.2%	47.4%

ウ 企業

・がんを含めた私傷病に罹患した社員に対して、仕事上の配慮をしているか

区分		全体
		従業員数19人以下
配慮をしている	66.2%	59.8%
配慮をしていない	23.6%	30.2%
無回答	10.2%	10.0%

・仕事と治療の両立を実現するためのコスト面の課題

区分		全体
		従業員数19人以下
休業中の賃金支給等の金銭的な補償が困難	47.4%	55.0%
休業中の代替要員の雇用にかかるコスト負担	25.4%	20.9%
長期間働けない社員の社会保険料の事業主負担	7.0%	6.1%

・名古屋市のがん対策において充実すべきこと

区分		全体
		従業員数19人以下
仕事と治療の両立を支援する取り組み	45.4%	41.8%
がん検診に関する受診勧奨や情報提供	35.9%	33.4%
喫煙対策	25.9%	22.8%

エ がん患者

・がんについて、現在、悩みがあるか

区分		全体		
			40歳未満	70～79歳
ある		50.7%	70.4%	38.9%
主な 内容	精神的な悩み (再発の不安や孤独感など)	51.0%	58.0%	47.8%
	治療中や治療後の症状 (副作用や後遺症、痛みなど)	48.0%	46.0%	48.5%
	経済的な悩み (治療費や生活費など)	24.1%	38.0%	9.6%
	仕事についての悩み (仕事への影響など)	21.0%	26.0%	5.1%
	日常生活の悩み (食事や運動、入浴、趣味など)	18.7%	20.0%	18.4%
	治療方法の選択	18.1%	12.0%	15.4%
	外見の悩み	14.9%	34.0%	4.4%
ない		30.6%	18.3%	40.6%
無回答		18.7%	11.3%	20.5%

・診断後における仕事の継続の状況

区分		全体		
			男性	女性
仕事の継続の 状況	仕事を継続した	72.0%	76.3%	68.1%
	仕事を継続しなかった	27.3%	22.7%	31.5%
	無回答	0.7%	1.0%	0.4%
相談できる制度 や窓口の有無	あった	34.2%	31.9%	36.3%
	なかった	53.5%	56.5%	50.7%
	無回答	12.3%	11.6%	13.0%

- ・子育てや介護、家事と治療の両立のために悩んだことや困難であったことの状況

区分		全体		
		男性	女性	
悩んだことや困難であったことの有無	あった	21.4%	6.3%	33.7%
	なかった	47.3%	54.5%	41.5%
	無回答	31.3%	39.2%	24.8%
相談できる制度や窓口の有無	あった	16.0%	13.3%	18.3%
	なかった	50.1%	45.7%	53.8%
	無回答	33.9%	41.0%	27.9%

- ・名古屋市のがん対策において充実すべきこと

区分	割合
がんの治療や医療機関に関する相談体制や情報提供	25.6%
がん検診に関する受診勧奨や情報提供	24.7%
食生活、運動習慣などのがん予防に関する啓発	19.9%
仕事と治療の両立を支援する取り組み	19.9%
精神的な悩みや不安に関する支援	18.4%
子どもの頃からのがん学習	16.9%

オ 病院

- ・患者からの悩み相談としては、「療養先の選択や介護保険サービス等の使い方」のほか、「通院治療や在宅療養についての悩み」、「仕事と治療の両立や経済的なこと」が多い。
- ・患者会やサロンは、14病院が実施しているが、がん種別には実施しているのは5病院のみで、内訳は乳房のほか、大腸、胃、甲状腺がある。
- ・名古屋市への期待としては、「仕事と治療の両立を支援する取り組み」が最も多い。